

元五輪選手らと運動したよ

府中丹支援学校生

五輪の元日本代表選手らが運動の楽しさを子どもたちに伝える授業が、福知山市私市の府中丹支援学校であった。児童と生徒が遊びやスポーツを通して交流を深めた。

同校を訪れたのはリオ五輪のオデジャネイロ五輪レスリング女子48kg級金メダルの登坂絵莉さん(30)とサッカー女子元日本代表の岩渕真奈さん(31)の2人。

同校の体育館に集めた児童たちが「おいしー」と呼びかけると、登坂さんが男性教員を抱きかかえ、岩渕さんはリフティングを披露しながら登場。サプ



児童と交流する岩渕さん(右)と登坂さん
＝福知山市私市・府中丹支援学校

リオ・レスリング金の登坂さん サッカー元日本代表岩渕さん 楽しくPK戦



PKゲームで児童と交流する岩渕さん(左)と登坂さん
(左から3人目)＝福知山市私市・府中丹支援学校

イズに跳びはねて拍手を送る子どももいた。低学年24人が参加した授業では、登坂さんが一緒にウサギやクマといった動物の動きをまねしたり、サッカーのPKゲームをしたりして触れ合った。児童を代表し、1年生の本田健人さん(7)が「楽しかった。また来てください」とお礼を述べた。

登坂さんは「喜ぶ姿が見られてよかった。これからも体を動かす楽しさを伝えたい」と話した。岩渕さんは「初めて支援学校の子とも一緒に触れ合った。一緒に盛り上げられてよかった」と振り返った。高等部の生徒とボッチャやフットサルをプレーし、中学部の生徒と給食を一緒に味わった。(湯沢宏志)